

# 家庭科評価基準

大題材名	ガイダンス			教科書のページ	表 2～p.7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(1)ア

大題材の目標		第4学年までの学習や生活をふり返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心をもち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲をもつ。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭科の目標や内容並びに家庭科の見方・考え方（家庭科の窓）や学び方を知り、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付いている。
	思考・判断・表現	—
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	1. 私の生活、大発見！			教科書のページ	p.12～19
配当時数	4 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(2)アイ、B(2)ア(イ)

大題材の目標		家庭の仕事について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	2. ゆでる調理でおいしさ発見			教科書のページ	p.20～27
配当時数	6 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ

大題材の目標		ゆでる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	おいしくゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	3. ひと針に心をこめて			教科書のページ	p.28～34
配当時数	9 時間	活動時期	7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(イ)、 B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、健康・快適・安全の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。			
大題材の観点別評価規準	知識・技能	手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。			
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			

大題材名	4. 持続可能な社会へ 物やお金の使い方			教科書のページ	p.36～43
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		物や金銭の使い方と買い物について、持続可能な社会の構築などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。			
大題材の観点別評価規準	知識・技能	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。			
	思考・判断・表現	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			

大題材名	5. 食べて元気！ご飯とみそ汁			教科書のページ	p.44～53
配当時数	10 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	B(1)ア、 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)イ、 B(3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。			
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。			
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			

大題材名	6. 物を生かして住みやすく			教科書のページ	p.54～61
配当時数	7 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(6)ア(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		気持ちのよい住まい方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切に物の使い方などを考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見い出して課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	7. 気持ちがつながる家族の時間			教科書のページ	p.62～64
配当時数	2 時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)イ

大題材の目標		家族との関わりについて、家族の協力などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家族とのふれ合いや団らの大切さについて理解している。
	思考・判断・表現	家族とのよりよい関わりについて問題を見い出して課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

生活の課題と実践	<b>生活を変えるチャンス！ ①</b> ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書のページ	p.65～67
配当時数	3 時間	活動時期	12 月～1 月	学習指導要領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の観点別評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

大題材名	8. ミシンにトライ！手作りで楽しい生活			教科書の ページ	p.68～78
配当時数	11 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要 領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	9. 見つめてみよう生活時間			教科書の ページ	p.80～83
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容	A(2)アイ

大題材の目標		生活時間について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	10. 朝食から健康な 1 日の生活を			教科書の ページ	p.84～91
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要 領の内容	B(1)ア、 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ、 B(3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		朝食の役割と栄養、いためる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	11. 夏をすずしくさわやかに			教科書の ページ	p.92～101
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要 領の内容	B(4)ア(ア)(イ)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	12. 思いを形にして生活を豊かに			教科書のページ	p.102～111
配当時数	14 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいやミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	13. まかせてね今日の食事			教科書のページ	p.112～120
配当時数	10 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(1)イ、B(2)イ、 B(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ、 C(1)ア(ア)(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		栄養を考えた食事について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、1 食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、栄養のバランスを考えた 1 食分の献立を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

生活の課題と実践	<b>生活を変えるチャンス！ ②</b> ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書のページ	p.121
配当時数	3 時間	活動時期	12 月～1 月	学習指導要領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から課題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の観点別評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

大題材名	14. 冬を明るく暖かく			教科書の ページ	p.122～127
配当時数	5 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要 領の内容	B(4)ア(ア)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。			
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。			
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			

大題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物			教科書の ページ	p.128～133
配当時数	2 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要 領の内容	A(3)ア(イ)イ

大題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。			
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。			
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			

生活の 課題と実践	<b>生活を変えるチャンス！ ③</b> ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書の ページ	p.134
配当時数	3時間	活動時期	2 月～3 月	学習指導要 領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から課題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。			
生活の課 題と実践 の 観点別 評価規準	知識・技能	—			
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。			

